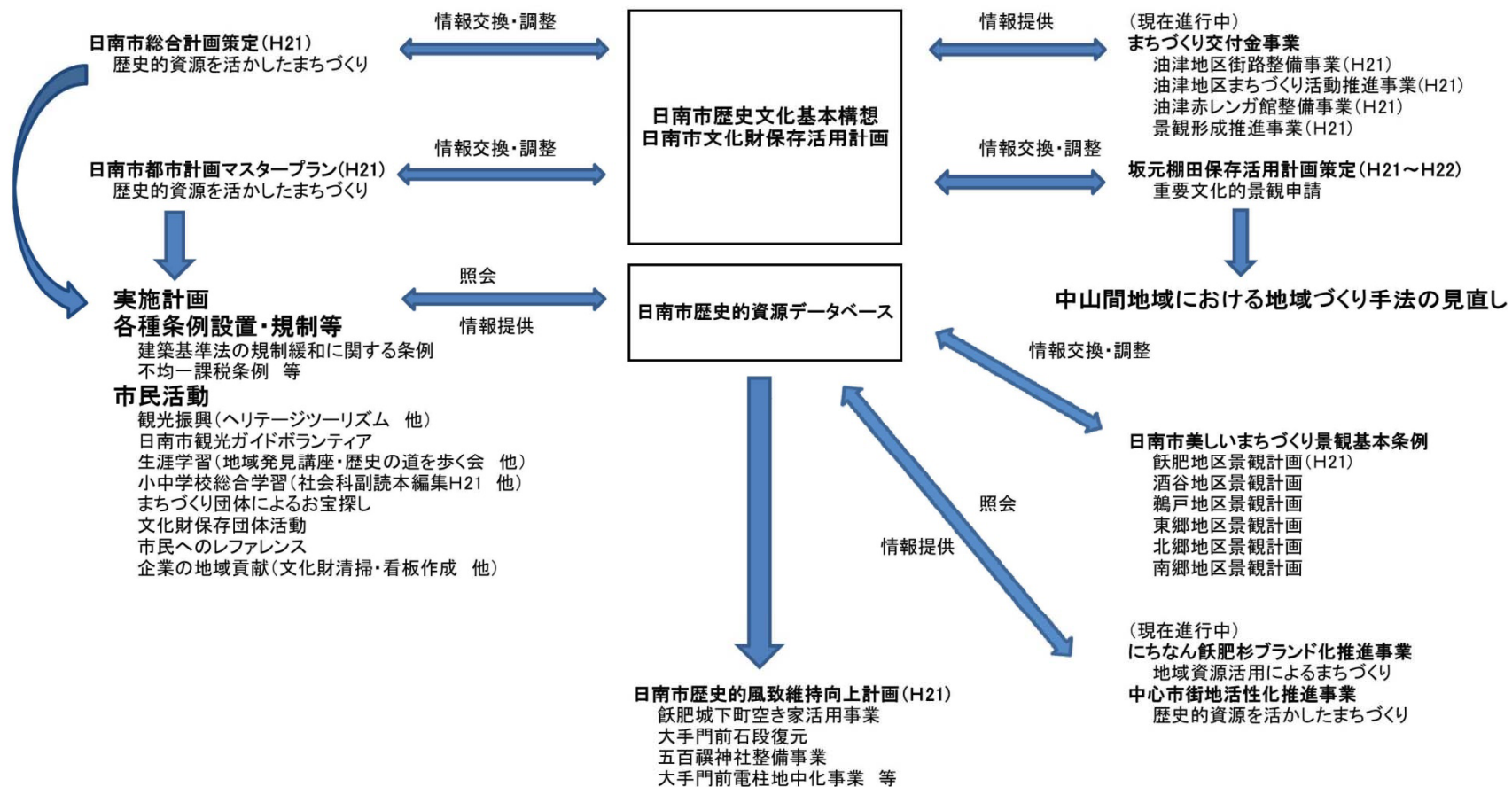


歴史文化基本構想の展開(日南市)



日南市総合計画策定(H21)
歴史的資源を活かしたまちづくり

情報交換・調整

日南市歴史文化基本構想
日南市文化財保存活用計画

情報提供

(現在進行中)
まちづくり交付金事業
油津地区街路整備事業(H21)
油津地区まちづくり活動推進事業(H21)
油津赤レンガ館整備事業(H21)
景観形成推進事業(H21)

情報交換・調整

日南市都市計画マスタープラン(H21)
歴史的資源を活かしたまちづくり

情報交換・調整

坂元棚田保存活用計画策定(H21~H22)
重要文化的景観申請

照会

実施計画
各種条例設置・規制等

建築基準法の規制緩和に関する条例
不均一課税条例 等

市民活動

観光振興(ヘリテージツーリズム 他)
日南市観光ガイドボランティア
生涯学習(地域発見講座・歴史の道を歩く会 他)
小中学校総合学習(社会科副読本編集H21 他)
まちづくり団体によるお宝探し
文化財保存団体活動
市民へのレファレンス
企業の地域貢献(文化財清掃・看板作成 他)

情報提供

日南市歴史的資源データベース

中山間地域における地域づくり手法の見直し

情報交換・調整

日南市美しいまちづくり景観基本条例
飫肥地区景観計画(H21)
酒谷地区景観計画
鶺鴒地区景観計画
東郷地区景観計画
北郷地区景観計画
南郷地区景観計画

照会

情報提供

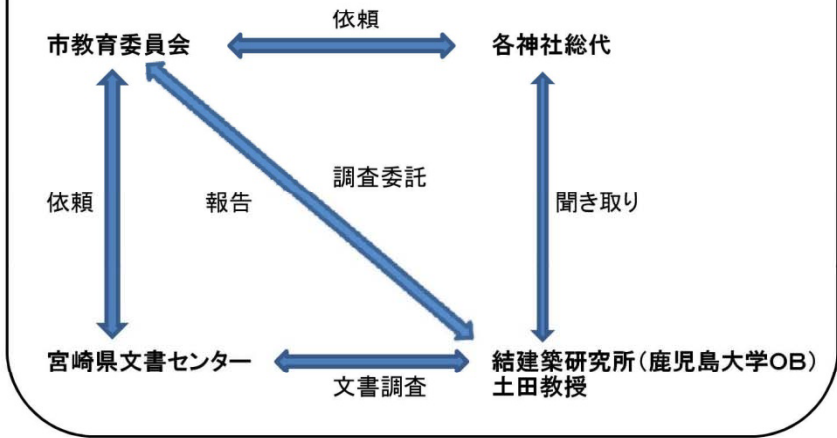
(現在進行中)
にちなん飫肥杉ブランド化推進事業
地域資源活用によるまちづくり
中心市街地活性化推進事業
歴史的資源を活かしたまちづくり

日南市歴史的風致維持向上計画(H21)

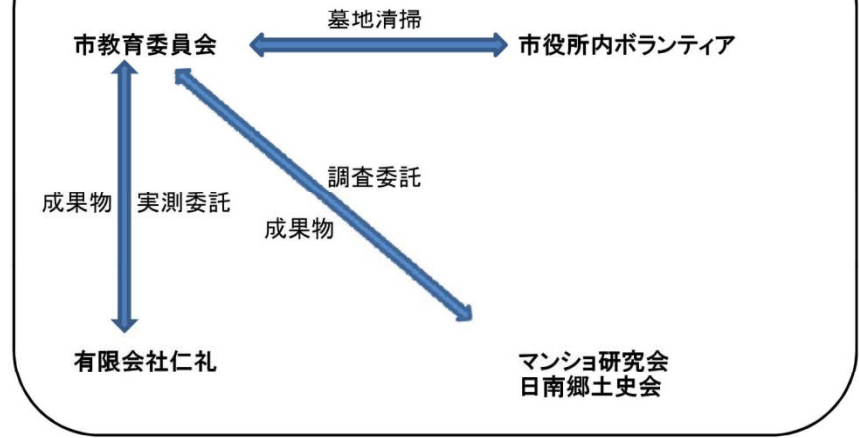
飫肥城下町空き家活用事業
大手門前石段復元
五百禰神社整備事業
大手門前電柱地中化事業 等

日南市における平成20年度の連携体制

【日南市内寺社建築調査】



【日南市内石造物調査】



日南市における文化財総合的把握モデル事業について (平成20年度分)

【特徴】

- 1 石造物(とくに墓碑)調査に重点を置いた。
日南市は江戸時代を通して飢肥藩伊東家の領地であったが、藩政時代の古文書がほとんど残存していないため、資料に乏しい。
一方、歴史的風致を良好に維持している飢肥城下町とともに、周辺に多数の墓碑群が保存されており、武家屋敷と墓地の関係のみならず、
銘文による新たな史実の発見や、日向纂記登場人物との照合による、町歩きストーリーの展開、飢肥藩における葬送儀礼の変遷など
飢肥城下町と関連遺跡群の重要な構成要素となることが期待できる。
- 2 旧日南市内のつち、飢肥城下町周辺の寺社建築を調査した。
飢肥城下町とともに、歴史的風致の重要な構成要素である寺社について、飢肥藩との関わりや民俗芸能との関わりを検討する上での
基礎データを作成した。
- 3 旧日南市・旧南郷町・旧北郷町のうち、予算化の関係で旧日南市域 のみを調査

【苦労した点(テーマ設定の背景)】

- 1 日南市は、昭和25年の戦后市町村合併の第1号として発足したため、当初から、地域の核が分散している。そのため、飢肥・油津・鶴戸神宮
など、歴史的な中心地を軸として関連文化財群を設定した。
- 2 坂元棚田については、酒谷地区の地域づくりのシンボリック的存在であり、文化的景観の調査対象地でもあることから、飢肥林業とも関連させて
テーマを設定した。
- 3 伊東と島津の中世城郭群については、市内全域に存在する中世遺跡としての城郭群を、総合的に評価することにより、関連文化財群とした。
- 4 琉球貿易や日明貿易をはじめとする海に開かれた日南市をイメージする関連文化財群のテーマ設定が必要であるが、未定。
- 5 委員会とワーキングをそれぞれ4回開催する予定であったため、日程調整が大変だった。

【委員の指摘】

- 1 墓と系図をクロスチェックさせる方法も有効。
- 2 重点地区(飢肥・油津)と全体調査のバランスには、調査の仕組みと方法論が大切。
- 3 五百禰神社は傷みが激しいので早急に修理する必要がある。
- 4 南那珂郡内には60数社の神社があるが、御利益や由来が分からなくなっている。
- 5 長持寺以外にも、旧報恩寺墓地や市内の石造物を調査。
- 6 伊東塔は地域独自の形式の石造物。
- 7 日向記にでてくる人物の墓を特定できればおもしろい。